

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝郎 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2973号 2022年10月18日(曇り) 第15回例会 会員数112名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 副SAA山下会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 焼物 白身魚・野菜甘酢あんかけ
クリームコロッケ 食事 汁 デザート

ビジター紹介

細谷副会長

◇来訪ロータリアン

6名(2クラブ) 累計26,596名

卓話講師 第2550地区ポリオプラス並びに資金
推進委員長 村井邦彦 様(宇都宮西RC)

宇都宮陽北RC

高橋和夫 様 須賀正人 様 長谷川達紀様

安食滋良 様 黒崎行雄 様



会長挨拶

加藤 勝朗 会長

皆さん、こんにちは。今月、今年のノーベル賞受賞者の発表がありました。過去117年のロータリーの歴史の中で、ノーベル賞を受賞したロータリアン・元ロータリアンは14名います。ロータリーの活動はノーベル賞に匹敵するものであることは自他ともに認めるところです。団体としてのロータリーにノーベル賞を、という動きもあります。その最も可能性のある活動がポリオプラスです。大きな歴史的な事業だけに、ロータリーの中でも誤解や批判を受けることもあります。今日は、ポリオプラスの意義と現状を、改めて学びたいと思います。村井様、本日の卓話よろしくお願ひします。

◇創立25周年を迎えての報告

宇都宮陽北RC 須賀 正人 様

皆様、こんにちは。宇都宮陽北RCは3年前に25周年を迎えました。記念事業はコロナウイルスの影響で延期となり、本年、記念事業を行う運びとなりました。コロナ禍のため、記念パーティーは開催しないことになりましたが、記念事業寄付、米山記念館視察研修事業、記念誌の作成を企画しております。今回は、25周年を迎えることができた報告のため、キャラバン隊としてお伺させていただきました。引続き、ご支援、ご協力、お願いいたします。



幹事報告

塚越 淳史 幹事

◇10月25日例会は夜間例会。お間違いなく。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会

炭田委員長

平野利一会員 70歳を祝って。元気でいたいです。

「3分間スピーチ」

黒澤 佳樹 会員



皆さん、こんにちは。職業分類は設備工事になっています。会社は東栄設備工業で、一般住宅から事務所、工場、教育関係、福祉関係、県市の公共工事等の設備工事を施工する会社です。設備工事は、トイレ・キッチン等の水廻りの給排水工事から、エアコン工事、換気工事、浄化槽工事、消火工事等の多種にわたります。何か

お困りごとがありましたらお声かけください。

私は2011(平成23年)4月19日、太城会長・倉井幹事の年に入会し、12年目になります。その年の正月に宇都宮東RC50周年の新聞広告が掲載され、名だたる会員企業名を目にして、当社会長より「ロータリークラブに入ったらどうだ。」と言われ、「五十二電気の八城社長に連絡しておいたから、後は良く打合せをして。」と、何もわからずに八城様に紹介を頂き、入会をさせていただきました。ロータリークラブもライオンズクラブも全く区別が分からない中で、一時期ライオンズクラブに席を置いていた会長に「ロータリークラブの方が格が高いし、入会の審査も厳しい。いろいろな職業分類の仲間がいる。」と言われたのを今でも覚えています。入会のきっかけになりました正月の新聞広告はそれほどまでにインパクトがありました。同年度入会は、斉藤様・山中様・手塚様の3名になります。50周年記念式典の後の入会だったので、盛大に開催された50周年記念式典を経験することができませんでした。また渡邊年度に開催予定でした60周年記念式典もコロナの影響で開催できなかったのも、今度の周年記念式典はぜひとも参加できるようにしたいです。

入会時は39歳で、クラブで2番目に若かったのですが、今年50歳になってしまいました。今では同年代の会員、若い会員も増えて色々話をさせていただきうれしく思っています。小学生だった子供二人も大学生となり、下の娘も今年家から巣立ってしまいました。今は妻と二人で生活をしています。年を重ねるごとに年月が過ぎるのは本当に早いものつくづく思います。

クラブでは入会当初より親睦委員会に入らせていただき、今まで一回も抜けることがなく親睦委員をやらせて頂いています。親睦副委員長を7回、田嶋年度で委員長を拝命しましたので、黒澤と言えば親睦、という印象がかなり強いのではと思います。その他副SAA、副幹事、本年度は社会奉仕委員長を拝命し、微力ながら会の運営に協力をさせていただいているところです。自分の目標は菊地憲壽さんのように親睦委員会に関わっていくことです。ちなみに、11月6日(日)に社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会の3委員会バンバ広場清掃を開催いたしますので、まだ出席の返事を出していない方は10月25日までに返信ください。皆様と一緒に清掃活動の社会奉仕活動を行いましょ。

※次回3分間スピーチは金子 剛会員



卓 話

10月24日世界ポリオデー 「ポリオ根絶に向けて世界が一つに」



第2550地区ポリオプラス並びに資金推進委員会 委員長 村井邦彦 様

皆様、こんにちは。10月24日が不活化ポリオワクチンを作ったソーク博士の誕生日で、この日は世界ポリオデーということでロータリーでは毎年大きなキャンペーンをします。今日はお話をする機会をいただきました。

- パワーポイントにて説明 -

はじめに、病気のことについて知っていただきたいと思えます。ポリオはポリオウイルス1型、2型、3型によって発症する感染症です。感染しても9割位の方はほとんど症状がでませんが、4～8%位に感染症状が、そして、0.1～2%位には麻痺症状が生じます。脊髄に感染して脊髄麻痺を起こしますが、主に子供に感染して麻痺症状などを起こすため、「脊髄性小児麻痺」とも呼ばれます。なってしまうと一生、なかなか歩くことができません。また、死亡率は、小児では2～5%、成人では15～30%とされます。ウイルスは人のお腹の中で増え、便と一緒に出て、便の飛沫が家屋の中に付き、そこに子供が手を触れて指を舐めて感染してしまう…。途上国では、経口生ワクチン、ポリオウイルスを薄めたものを投与することで、免疫力をつけています。ただ、問題点があり、1回0.15ドルと安いのですが、ポリオのようになってしまうことがあります。日本を含めて先進国は、不活化ワクチンの注射をしています。

日本におけるポリオですが、1940年代頃から流行があり、有名なのは1960年の北海道の大流行です。この時には、ソ連から経口生ワクチンを緊急輸入し、終息しました。1980年に野生型のポリオ発症例が出た後、日本では症例が出ていません。ただ、出ていないからといってこれから危険がないか、というと、そうではなくて頻りに持ち込まれています。まだ、世界にはウイルスが残っています。そういったこともありますので、日本の生まれた子どもは、必ず、四種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合)という形でワクチンを接種しています。

ロータリーの話になりますが、1979年、5年計画をたてて、フィリピンで600万人の児童に予防接種をしたのがロータリーのポリオ活動の開始になります。その後、1985年にポリオプラス・プログラムが設けられました。1995年にポリオを世界から根絶するという大きな目標を掲げましたが、なかなか実現せず、2007年にポリオ根絶を最優先事項とする採択をしました。これまでに17億米ドル以上を投入し、世界中で25億人以上の子どもの予防接種をしてきました。また、ロータリーだけでなく、いろいろな人、グループがこのポリオ活動に加わるようになりました。現在は、GPEI、ポリオ根絶プログラムの中でロータリーも動いています。

ロータリーの大きな功績と言われているものの一つが、コールドチェーン：ワクチンの製造・輸送・接種で、もうひとつ言うと、感染症の監視プログラムです。こういったことを、途上国を含め、世界中で行う、ひとつのネットワークが出来ています。写真のように、ワクチンを工場から輸送してアフリカの奥地まで届ける、そういった仕組みを張り巡らせています。また、世界中のネットワークがジフテリアや黄熱、その他の感染症の監視プログラムにも入っています。ポリオを主軸にやってきたことですが、世界中の感染症を監視し、治療していくということが、ロータリーの作ったネットワークの上に構築されている、ということがひとつの功績となります。

ポリオは1985年に35万件あったものが、近年、2019年には176件、2020年には140件、2021年には6件となり、野生型のポリオの根絶宣言が見えてきています。常在国のアフガニスタン、パキスタンではなかなか最終的な根絶宣言が出せずにいます。アフリカ大陸に関しては、2016年の4例の後、2020年まで発症例がなかったのが根絶宣言を出したのですが、最近また野生型が出てきてしまっています。また、野生型ではないポリオ発症例があります。経口生ワクチンでの発症です。

腸管の中でウイルスが増殖して糞便と一緒に廻りに散らしてしまふ。ワクチン由来の遺伝子を持つウイルスの発症があり、これが問題になってきています。ロータリークラブとしては、2021年に新しい経口生ワクチンを投入しました。2型の野生株はほとんど根絶しているの、2型の株を入れていないワクチンを使えば、2型の発症例が減るということで、新しい経口生ワクチンには2型の野生株が入っていません。また、不活化ワクチン、注射への切り替えです。ただ、これにはコストがかかります。2023年までに野生型ポリオウイルス1型を終息させる、ワクチン由来の発症例を無くす、という目標をたてています。しかし、アフリカ大陸で野生型が出たり、今年7月、アメリカで発症例がでてしまいました。この方はワクチンを打っていなかったとのことです。

ロータリークラブでは引き続き、ポリオの根絶に向けて資金を調達し、GPEIとともに頑張ることが決まっています。年間5,000万ドルをロータリーの皆様から調達し、そこにビル&メリンダ・ゲイツ財団が1億万ドル上乗せしてくれています。合計1億5,000万ドルが、ワクチンの取得や調査・研究、監視など、いろいろなことに使われています。ロータリーの会員の皆様には寄付をお願いしたいと思います。ロータリーカードというのがございまして、利用していただくと、0.3%がポリオ根絶の寄付になります。個人用カードはオリコとダイナースから出ています。お持ちでない方はご検討いただければありがたいと思います。法人用カードもございまして。また、マイロータリーの「ポリオ根絶」から、定期的に寄付をすることができます。この10月は、ポリオの根絶に向けて皆さんに、寄付する意義、ポリオとは何か、ポリオの内容を知っていただくということでございまして。アフリカやアメリカで発症例がでてしまうなど少し心配なニュースもありますが、根絶宣言に向けて、後数年でいけるのではないかと、いうところまで来ています。よろしくご祈り致します。